



さわたりちやせいさんくみあい

## 沢渡茶生産組合

～沢渡の茶 400年の歴史を次世代へ！～



お茶摘み体験ツアーのようす



美しい景観、霧の茶畑

### 経緯

- 400年の歴史を誇る沢渡地区の茶畑は、山林を開墾して自然茶から「やぶきた」種を植栽。上質茶の生産と美しい茶畑の景観を守ってきたが、価格の低下と生産者の高齢化で耕作放棄となる畑が増加。
- お茶づくりと茶畑の原風景を次世代に継承するため、昭和38年に「沢渡茶生産組合」を設立。

### 取組内容

- 「互いに助け合ってお茶づくりを守る」との思いから「ブレンドからブランドへ」を合い言葉に、荒茶の生産に加え、仕上茶（沢渡茶）も販売。
- 消費者を対象にした茶摘み体験や次世代を担う小学生等に出前授業を実施。
- 若手組合員が（株）ビバ沢渡を設立し、仕上茶、お茶を活用したスイーツを販売。スイーツは香港へ輸出。

### 活動の効果

- 互いに助け合ってお茶づくりを継承していくことで、高品質な茶の生産の維持に繋がっている。
- 自然と調和した茶畑を縫うように行われる勇壮な練りなど200年余りの歴史を持つ「秋葉まつり」の伝統と一体化した茶畑の風景を守っている。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

沢渡地区では、若手組合員が茶の加工販売を行い、仁淀川町内にお茶カフェを開店し、更に高知市にも出店するなど、積極的な取組が行われています。地域の各世代が互いに助け合ってお茶づくりを守り、高品質な茶の生産とともに先人から受け継いだ茶畑の風景を次世代に繋げていきます。